

PURIC Water Information

ピューリック α 超純水中の環境ホルモン含有量の測定

内分泌かく乱化学物質（通称：環境ホルモン）とは、生体内に取り込まれることでホルモン作用に障害や悪影響を引き起こす化学物質です。近年多くの法令等で規制対象になっていることから、様々な研究や分析調査が行われています。

今回は、ピューリック α 超純水中の環境ホルモンを測定しましたのでご紹介します。

・超純水装置 ピューリックPR-FP-0120 α-MT1セット ディスペンサー DS-α-001（オルガノ株式会社）

・分析装置

【1】フェノール類 GC : 6890N (Agilent Technologies) + MS : 5975B (Agilent Technologies)

【2】フタル酸エステル類 GC : 7890A (Agilent Technologies) + MS : 5975C (Agilent Technologies)

【3】ダイオキシン類 ① GC : 7890B (Agilent Technologies) + MS: JMS-800D MS (JEOL)

② GC : HP6890 (Agilent Technologies) + MS: Auto Spec-Ultima (micromass)

・測定結果

【1】フェノール類 (N=2)

試験項目	定量下限値 (ppb)	結果 (ppb)	試験方法
Bisphenol A	0.001	<0.001	外因性内分泌かく乱化学物質調査暫定マニュアル(平成10年10月環境庁) III-iii, 参考法: アルキルフェノール類とビスフェノールAの分析法
Nonylphenol	0.01	<0.01	
4-t-Octylphenol	0.01	<0.01	

【2】フタル酸エステル類 (N=2)

試験項目	定量下限値 (ppm)	結果 (ppm)	試験方法
Butyl benzyl phthalate	0.0002	<0.0002	外因性内分泌かく乱化学物質調査暫定マニュアル(平成10年10月環境庁) IV, 参考法: フタル酸エステルの分析法
Diethylhexyl phthalate	0.0002	<0.0002	
Diethyl phthalate	0.0002	<0.0002	
Di-n-butyl phthalate	0.0002	<0.0002	

【3】ダイオキシン類 (N=1)

試験項目	定量下限値 (pg/L)	結果 (pg/L)	試験方法
PCDDs + PCDFs DL-PCBs	各異性体によって異なる	定量下限値未滿	JIS K 0312:2020 工業用水・工場排水中のダイオキシン類の測定方法
ダイオキシン類 (Total)			

※定量下限値を確認したい異性体がある場合は、右下のQRコードまたは<https://www.organo.co.jp/contact/input/>からお問い合わせ下さい。

測定結果について

フェノール類、フタル酸エステル類、ダイオキシン類は今回測定した全ての項目で定量下限値未滿でした。このことから、ピューリック α 超純水は環境ホルモンの分析用水や操作ブランク用水として使用することができます。

◆ 関係法令 ◆ 大気汚染防止法、ダイオキシン類対策特別措置法、水質汚濁防止法、JIS K 0312:2020など

オルガノ株式会社

機能商品事業部

〒136-8631 東京都江東区新砂1-2-8

Tel:03-5635-5193 Fax:03-3699-7220

<https://www.organo.co.jp/products/>

問い合わせ



資料請求・見積等
ご相談はこちら



製品紹介ムービー



装置の使用風景が
ご覧いただけます



YouTube



チャンネル登録は
こちら



※ピューリック、αはオルガノ株式会社の登録商標または商標です。